旭ケ丘

学園だより
No.13
編集・発行
高知高等学校
高知高等学校PTA
令和２年12月25日発行

コロナに学ぶこと　コロナと共に生きること

校長　森　暁

2020年はオリンピック・パラリンピックを東京に迎え、高知県では全国の高校生を迎えて高等学校総合文化祭が開催されるはずの年でした。全国が活気にあふれるはずであった2020年がいま静かに閉じようとしています。

昨年十二月、中国において、新型コロナウイルスのヒトからヒトへの感染が発生したとのニュースが流れ始めたのも束の間、ウイルスは飛行機の速さで世界をまたぎ、止められない社会構造を逆手にとって、またたく間にその世界を拡げました。しかし、新型コロナウイルスにしてみれば、たまたま、ヒトの体が最も居心地がいいように変異しただけのことです。自然現象の一つであったはずのそのウイルスが、第三波と見られる勢いで、再び、ヨーロッパ、南北米大陸、インド、アフリカと広がりを見せており、日本も決して例外ではありません。

この春の皆さんの新学期は〈学校休校〉から始まりました。楽しみにしていた新しい学校生活、夢にあふれ、決意とともに始まるはずだった新年度が、登校することを許されない形でスタートしたのです。1年生にとっては、学校生活を楽しみに入学したものの、どんなクラスなのか、どんな先生が教えてくれるのか十分な出会いもできぬまま、4月13日から臨時休校に至ったのでした。

〈授業もない、部活動もない、外に出て遊ぶわけにもいかない、…〉

あの長い休校の間、皆さんは何を思い、どんな時間を過ごしたでしょうか。本校の休校は約1か月でしたが、全国には2か月、3か月にも及んだところがあります。国によっては半年以上に及んでいるところもあります。

そのなかで、日本はこのコロナ禍を上手に抑制している国の1つとして世界から評価を受けてきましたが、このところ、都市部を中心に再び心配が膨らんできています。〈社会の動きを止められない〉ことからくる難題がのしかかっており、日本も解答は見つけられないまま迷走していますが、日本人のゴリラ研究者として世界に知られている山極寿一という先生がいらっしゃいます。京都大学の前学長です。先生のご指摘を紹介しましょう。

〈世界の哺乳類の量は人間と家畜で九割以上を占める〉のだそうです。〈ヒト76億人、ウシ15億頭、ヒツジ12億頭、ヤギ10億頭、ブタ10億頭、ニワトリ500億羽。野生生物はゾウが62万頭、チンパンジー30万頭、先生のご専門の）ゴリラ20万頭〉だとか。人間と家畜の占める割合が異常に高いことがよくわかります。

この新型コロナウイルスは、もとはコウモリが宿主であったといわれています。哺乳類に感染する能力があるコロナウイルスにしてみれば、コウモリにとどまるのではなく、ヒトに感染するように変異するのは、報われる進化であったということがよくわかります。ヒトにとっては災難ですが、新型コロナは新型コロナの性（さが）を生きているだけのことです。コロナ禍は、ヒトの営みのうえに自然の摂理が働いて生まれた禍（わざわい）であることがわかります。

それでは、これから学校はどうなるのでしょうか？　幸い、高知県は比較的、コロナ感染を遠ざけた生活が維持されてきました。しかし、国境や県境をまたぐ人の移動が活発になれば、このままではすまないでしょう。ウイルスが近くに及んでくることを覚悟しないといけないかもしれません。学校は宿命的に密な世界です。宿命的に密であるその環境で、自分たちができる努力をひたすら重ねるしかないのです。それがマスク着用であり、こまめな手洗いです。なんだ、そんなことかと思うかもしれませんが、コロナ禍に対して、今一人ひとりができる日常の基本的モラルはこれに尽きるでしょう。

このマスク着用がコロナの拡散防止に効果が高いことをWHO（世界保健機関）はしっかり認めています。これに、〈密な場所に出向かないこと〉〈密な場をつくらないこと〉が加わります。皆さんの学校活動を守るために、この点を理解してもらって、1人ひとり、積極的にマスクの着用をしてもらいたい。休校を強いられた皆さんには、理解できるはずです。力を合わせて一緒に頑張りましょう。これが、校長として今一番求めたいお願いです。

ここで、実は、皆さんに期待したいことがあります。コロナは皆さんに何を強いたか！　マスク着用も一つの答えではあります。でも、もっとはるかに重要なことがあります。皆さんに期待したいのは、コロナによって「自分の時間や空間が奪われた」という気づきです。こんなに科学が進んだ時代に生きていても、「予測できないことがある」「対処不能なことが起こるものだ」という認識も大切ですね。

これは、学校が再開して日常生活を送ることができている皆さんには、少し難しいかもしれません。でも、再び、休校が迫って来るかもしれない可能性と、半年にもわたって学校に行けなくなっている諸外国の現状を重ねてみてください。自分の時間を大切にすることの重大さに気づくはずです。そこで、例えば、こんなふうに考えてみるのはどうでしょう。〈こんなに落ち着いて自分と向き合う時間を与えられたことはなかった。発想を変えて、自分のペースで、自分の時間を生きることができれば、この時間はありがたい。〉

向かう先は人それぞれ。小説を読むのもいいし、好きなスポーツについて読んで深めるというのも普段できない楽しみですね。自身の身体を読みながら、自分のペースでトレーニングを課すというのもすばらしい。思い切って絵を描いてみるとか、料理に挑戦するとか…。

コツは、迷うよりも始めてみること！　自分の中に今まで気づかなかった自己を発見できるかもしれません。私は、このコロナ禍のなかで、子どもも大人も新しい境地を見つけて大きな一歩を進める人が世界にはたくさん生まれてくると思っています。〈自分なりの新しいなにか〉が動き始めると面白いと思います。

ここで、皆さんのそうしたチャレンジが高く評価された例を紹介しておきたいと思います。一つは、高知新聞社が主催する今年の新聞感想文コンクールでのこと。高校一年生の刈谷太一君、三年生の中野有彩さん、同じく三年生の窪野光由可さんの三人が優秀賞に輝きました。積極的にたくさんの生徒が参加したことにより、高知高校には優秀学校賞もいただきました。

二つ目は今年、生命保険文化センターが行った全国中学生作文コンクールでの成果です。高知中学二年生の本田哲平君の作品が、全国2万6千編の中で最優秀の評価を得て、文部科学大臣賞に輝きました。

さらには、この11月には中学生の「税についての作文コンクール」において、中学三年生の西内彩有さんが高知税務署長賞を得ています。自分自身に向き合って紡ぎだした成果の賜物だと思います。参加した皆さん一人ひとりの挑戦を心から讃えます。

さて、残念ながら、コロナ禍に対して世界はまだ全く解決のヒントを見いだせておりません。科学の力を借りながら、ウイルスと共存する手立てを探していくしかないのです。その方法が見つかるまで、学校は皆さんと力を合わせながら、「密」をできうる限り克服するとともに、自制した生活習慣を続けるしかないでしょう。

一緒になって、学校環境を守っていきましょう。そのうえで、皆さんがそれぞれに自分の時間との向き合い方を見つけ、チャレンジをしてくれることを願っています。このコロナ禍を克服した先の皆さんの生き方が楽しみです。

令和二年度　旭ヶ丘
R2.12.1

学生ファーストを大切に

PTA会長　横山 公大

学生ファーストを大切にし、教職員、保護者の相互理解に努め、高知学園発展に寄与してまいります。

本年度よりPTA会長にご推挙をいただきました横山公大と申します。当校には息子2人が高校生と中学生でお世話になっております。至らない点もあろうかと存じますが、いただいた任期中、最善を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年まで副会長として細川前会長のサポートをしてまいりました。長年に渡りPTAの運営はもとより、様々なイベントやPTAの在り方、また高知学園発展に対し、多大なるご尽力をいただいた細川前会長に心からの労いと感謝をお贈りいたします。

旭ヶ丘について

保護者と学校を結ぶ大切な役割として、私たちの手元に届く本広報誌、【旭ヶ丘】の第一号の発行は平成26年7月1日でございます。PTA会長を務めるにあたり、第一号から拝読をいたしました。当時の森暁校長の寄稿には、【学校から家庭、保護者への情報の提供　お互いの連携に寄与】をしたいとの想いがしたためられております。

急速に進む情報社会において、ゆっくりと紙面に向き合う時間も大切であり、日頃なかなか目に耳に届かない、子どもたちの学校生活を知るツールの一つとして、本紙の役割は非情に有益だと感じております。お手元に届いた際には是非ともご一読をいただきたいと思います。

置かれた場所で咲きなさい

今年は思いもよらぬ事態となり、我々保護者にも大きな戸惑いが生まれました。何よりも学生たちにとっては一生において非常に大切な時期に、学習の時間、クラブ活動やイベント等、仲間との時間が割かれたことは、本当に辛い時間だったと感じております。

また一方で、この状況においても学生たちの活躍が耳に入り、大変頼もしい限りでございます。例をあげますと、野球では高校生の四国退会出場、陸上では棒高跳び中学生新記録達成、等々、どんな状況においても結果を出せるということを学生から教わりました。

【置かれた場所で咲きなさい】という言葉がありますが、まさにこの状況下においても、花を咲かすことができるんだ、という証でありますし、きっと仲間たちにとっても大きな刺激になる活躍だったのではないでしょうか。

また、過日行われた中学生の体育祭では、無観客という厳しい判断の中、PTAの皆さんのご要望、ご希望を何とか形にしたいと考え、急遽ではありましたが、PTA役員の皆さんと協議の上、当日の様子をライブ配信させていただきました。直接応援する臨場感こそ味わえなかったものの、いつもと違った視線で観戦ができ、また体育祭後の配信でも子どもたちと一緒に観ることができて良かったとの声もいただきました。その後編集した動画は、子どもたちはもちろんのこと、ご家族の皆さんにとってもいい思い出になったのではないでしょうか。こういった時だからこそ生まれる、新しい取り組みにも今後期待をしたいと思います。

また嬉しい報告としては、本校卒業生の栄枝裕貴君が見事、阪神タイガース4位指名という堂々たる指名をいただきました。彼の活躍も学園をあげて応援していきましょう。

PTA支部の在り方

ここ数年何度も議論を重ねてきました支部の在り方につきましても、今後のPTAに負担をかけることのないよう、いい形になるよう進めてまいります。

組織は集合と分裂を繰り返し、より形へと変化をしていきます。時代の流れに応じた組織づくりのためにも是非ご協力ください。

例年と違い、PTA活動にも制限がありますが、限られた時間を無駄にすることなく、子どもたちの学園生活がより良いものになるよう精一杯努めてまいりましょう。

いよいよ年末を迎えますが、皆さんにおかれましてもご自愛をいただき、良い年を迎えられますことをお祈りいたします。

進路・特進部

昨年から今年にかけて、大学入試改革や新型コロナウイルスの影響による臨時休校など、様々なことがありました。特に3年生は、休校による授業の遅れや、行事の中止等、大きな影響を受けてきました。大学入試日程の遅れも懸念されていましたが、現在のところ21年度大学入試はほぼ予定通りの日程で進んでいます。以下、大学入試変更点やスケジュール、「共通テスト」、冬休みの進路行事等について書きます。

大学入試変更点とスケジュール

AO入試は「総合型選抜」、推薦入試は「学校推薦型選抜」へ名前が変わりました。呼び方が変わっただけではなく、これまでの書類、面接等で測られる「人物重視」の選抜ではなく、「学力も重視」という流れのなかで、総合型・学校推薦型ともに選抜時に学力を測ったり、共通テストの受験を課したりする傾向にあります。日程は総合型の出願が9月1日以降となりましたが、21年度入試では新型コロナウイルスの影響でさらに遅らせて、9月15日以降になりました。学校推薦型選抜は11月1日以降となっています。また、これまで特に規定のなかった合格発表も、総合型が11月1日以降、学校推薦型が12月1日以降となっています。

「共通テスト」の変更点

31年間続いた「センター試験」に代わり、21年度入試から「大学入学共通テスト」（以下、共通テスト）が実施されます。入試改革の目玉であった「英語外部検定利用」や「記述式」の導入は見送られ、全問マークシートでの出題となりました。「センター試験」から「共通テスト」に変わり、以下のような変更があります。

数学①では、試験時間が10分増加し、「対話文を含む問題」、20年度センター試験でも複数出題された「多肢選択問題」が出題されることが予想されます。また、英語は「筆記」から「リーディング」となります。センター試験では筆記とリスニングの配点が200点：50点の「4：1」で、多くの大学がこの比率を採用していました。共通テストでは配点がリーディング、リスニングとも100点で「1：1」となりましたが、大学が採用する比率を決定することができます。高知県内の国公立大学は、すべて「4：1」、四国内の国立大も愛媛大の医学部医学科（9：1）、鳴門教育大（1：1）を除き、「4：1」となっており、センター試験と同じ比率となっています。ちなみに、中四国の国立大では広島大も「1：1」を採用しています。

「共通テスト」のスケジュール

共通テストは第1日程、第2日程、特例追試の3つの日程が用意されました。第1日程は21年1月16日・17日（浪人生はこの日程のみ出願できる）、第2日程は1月30日・31日で、第1日程を病気などで受験できない場合の追試、また学習の遅れがあると高校の校長が認めた現役生が受験できる日程です。さらに第2日程の追試として2月13日・14日の特例入試が設定されています。本校生徒は第1日程で受験します。

「共通テスト」の新型コロナウイルス感染症対策

大学入試センターは11月6日、共通テストの新型コロナウイルス感染症予防対策について発表しました。受験生から当日、せきや発熱の症状があると申し出があった場合、「健康状態チェックリスト」に基づき、チェックの該当数によっては追試験の受験申請を案内し、該当数が少なく受験継続を希望する場合は別室での受験とするとしています。また、追試験は、体調不良を申し出た時点で終了していない教科・科目単位での受験申請を可能としています。他には、試験当日、せき・発熱などの症状がなくても、会話を極力控えることや、昼食時などを除いて試験場内ではマスクの着用を義務付けること、試験の7日前程度前からの毎日の検温や、2週間前に症状が出た場合の医療機関での受診も要請しています。

「共通テスト」、「一般選抜」に向けて

一般入試は「一般選抜」と名前が変わり、21年度一般選抜のスタートとなる共通テストでは「思考力・判断力・表現力」がセンター試験より一層問われる出題になると予想されています。先述しましたが、共通テストの英語では出題内容が大きく変わっています。リーディングでは発音・アクセント、文法問題はなくなり、すべてが読解問題形式になります。また、リスニングでもこれまで問題音声読み上げは、すべて2回読みでしたが、今回から1回読みの問題も出題されます。いずれも試験時間に変更はなく、必然的に問題量が増えると予想されます。さらに国語や数学でも文章や図を使った出題がありそうです。共通テストの過去問はないので、対策問題集などを利用し、傾向をしっかりおさえ、時間配分を考える、文章を読むスピードを上げる、出題の意図を早く読み取る、などの対応が求められます。

また、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、試験中は原則マスクの着用が求められることを前提に、マスクをして勉強することに慣れておくことが必要となります。普段からマスク着用、手指消毒をするなどの感染対策はもちろんですが、栄養、睡眠を十分にとるなど免疫力を高め、体調管理にも努めてください。

冬休み中の進路に関する行事

新型コロナウイルスの影響で、夏休みに実施できなかった勉強合宿を2泊3日の日程で高3、高1・2と分散して開催します。高3生にとっては共通テスト前の総仕上げとなります。また、1・2年生にとっては、初めての進路行事となります。この合宿では25時間以上の勉強時間が確保されています。参加する生徒さんは、集中して勉強することができる環境で、苦手分野にも時間をかけてじっくりと取り組んでみましょう。また、補習や合宿に参加できない1・2年生も、新年度に向けて少しでも早くスタートが切られるように、この冬休みに進路について考え、保護者と進路について話す機会を持つようにしてください。充実した冬休みを過ごし、3学期を迎えましょう。

変更点	センター試験	共通テスト
出題形式	マーク式 理科②:選択問題あり	マーク式 理科②:選択問題なし
試験時間	数学①:60分	数学①:70分
英語の出題内容と配点	筆記（文法+読解）:200点 リスニング:50点 ※問題音声読み上げは2回	リーディング（読解）:100点 リスニング:100点 ※問題音声読み上げ、前半は2回、後半は1回

〈高3〉

○**共通テスト直前補習**
12月17・18・24・25・26・27日
1月5・6・7日

○**勉強合宿（かんぽの宿伊野）**
12月21日～23日（2泊3日）

〈高1・2〉

○**冬期補習（4限授業終了後）**
12月17・18・21・22・23日
※21日は希望者を募り、高知大学の海洋コア総合研究センターの見学に行く予定です。

○**勉強合宿（かんぽの宿伊野）**
12月25日～27日（2泊3日）
※代ゼミ講師の特別講義を予定しています。
・12月25日（金）
現代文
（講師・森　直樹　先生）
・12月26日（土）
英　語
（講師・寺尾　政晃　先生）

高知市との間で、緊急消防援助隊の宿営地として旭グラウンドを提供する協定書を締結

南海トラフ地震等によって高知市で甚大な被害が発生し、市の保有する消防力等では対応が困難な状況が想定される場合、県外から緊急消防援助隊を受け入れることになります。

7月16日（木）、高知学園は高知市との間で、大規模災害時等の際に緊急消防援助隊が有効かつ効率的に活動いただくことを目的として、その利便性から、旭グラウンドを宿営地として事前の指定をすることを受け入れる協定を結びました。

今回の協定締結により、全国からの援助隊員、特殊車両資機材等を円滑に受け入れることができるようになる見込みで、備えが大きく前進するとされています。

なお、本校の体育館については、すでに高知市との間で大規模災害時の避難所としての協定を結んでいます。

クラスマッチ

LAKERS
28
LAKERS
02
Fly
Emirates

高知高校運動部の主な成績

少林寺部

夏季大会	女子単独演武	2位	間﨑 優華
	男子単独演武	2位	坂上 蓮
秋季大会	女子自由単独演武	**1位**	**間﨑 優華**
（全国選抜予選）	男子規定単独演武	**1位**	**坂上 蓮**

サッカー部

県体		3位
全国選手権県大会		3位

バスケ部

県体		3位

バレー部

県体 兼 秋季大会 兼 全日本選手権県予選		**優勝**
夏季新人大会		**優勝**
全日本選手権県予選		**優勝**

テニス部

青山整形	女子シングルス	2位	杉浦 里奈
夏季ジュニア	女子ダブルス	**優勝**	**岡本・杉浦**
新人大会	男子団体戦	3位	
	男子ダブルス	3位	市川・金子
	女子団体戦	3位	
	女子シングルス	2位	杉浦 里奈
	女子ダブルス	**優勝**	**岡本・杉浦**

ライフル射撃部

県体 兼	ビームライフル男子立射60発	3位	浦田 歩武
夏季大会	エアライフル男子立射60発	**1位**	
秋季大会	ビームライフル男子立射60発	**1位**	
	エアライフル男子立射60発	**1位**	
	ビームライフル男子団体	2位	

弓道部

高知県新人大会	男子団体	**優勝**

柔道部

夏季大会	男子団体	**優勝**	**高知高校A**
		3位	高知高校B
	女子団体	**優勝**	
	男子個人66kg級	2位	谷 希龍
		3位	大谷 優人・筒井 政行
	男子個人73kg級	2位	浅川 紘誠
		3位	鎌倉 廉・谷川 琉玖
	男子個人81kg級	**優勝**	**鎌田 直人**
		2位	坂本 晃一郎
	男子個人90kg級	3位	西川 兼生・西本 亮介
	男子個人100kg級	2位	堀内 雄司
	男子個人100kg超級	**優勝**	**濵田 廉斗**
		3位	松下 創大
	女子個人48kg級	**優勝**	**西村 奏星**
	女子個人52kg級	2位	大黒 楓佳
		3位	久保 鼓巴音
	女子個人57kg級	**優勝**	**吉川 日奈子**
秋季大会	男子団体	2位	
	女子団体	**優勝**	
	男子個人66kg級	2位	谷 希龍
		3位	筒井 政行
	男子個人73kg級	2位	谷川 琉玖
	男子個人81kg級	2位	坂本 晃一郎
	男子個人90kg級	**優勝**	**島 慶汰**
		3位	金枝 龍三郎・北村 秦紘
	男子個人100kg級	**優勝**	**西川 兼生**
	男子個人100kg超級	**優勝**	**濵田 廉斗**
		3位	松下 創大
	女子個人48kg級	**優勝**	**西村 奏星**
	女子個人52kg級	2位	大黒 楓佳
	女子個人57kg級	**優勝**	**吉川 日奈子**

剣道部

秋季新人大会	男子団体	**優勝**	
（全国選抜予選）	男子個人	**優勝**	**山﨑**
		2位	弘田
		3位	篠・酒井
	女子団体	**優勝**	
	女子個人	**優勝**	**永野**
		2位	間城
		3位	楠岡・中脇

体操部

冬季大会 新体操女子	個人総合・フープ・リボン	**優勝**	**山田 彩乃**
県体 兼	個人総合・ゆか・鉄棒	**優勝**	**前田 侑汰**
秋季大会	あん馬・つり輪・跳馬・平行棒	準優勝	
体操男子	つり輪	**優勝**	**芝澤 結仁**
	個人総合・ゆか・鉄棒	準優勝	
	あん馬・跳馬・平行棒	3位	
県体 兼	個人総合・跳馬・段違い平行棒・平均台	**優勝**	**中澤 桃花**
秋季大会	ゆか	準優勝	
体操女子	ゆか跳馬・段違い平行棒	**優勝**	**横山 咲桜**
	個人総合・平均台	準優勝	

野球部

夏季特別大会	**優勝**
県選抜大会（Aブロック）	**優勝**
秋季四国地区県予選	準優勝

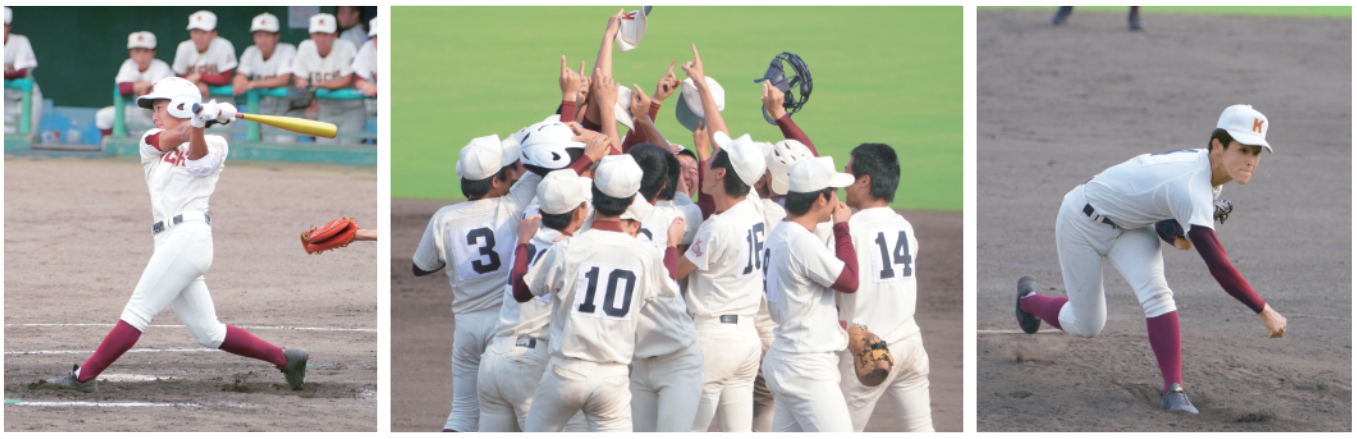
水泳部

県体	男子100m平泳ぎ	**優勝**	**安原 聖力**
	男子200m平泳ぎ	**優勝**	**安原 聖力**
	男子100mバタフライ	**優勝**	**頼田 哲**
	男子200m個人バタフライ	3位	島内 嘉生
	男子400mフリーリレー	2位	安原・頼田・島内・森本
	男子400mメドレーリレー	2位	安原・頼田・島内・森本
県選手権大会	男子100m平泳ぎ	**優勝**	**安原 聖力**
	男子200m平泳ぎ	**優勝**	**安原 聖力**
	男子100mバタフライ	3位	頼田 哲
県学年別大会	男子50m自由形 高3の部	**優勝**	**頼田 哲**
	男子50mバタフライ 高3の部	**優勝**	**頼田 哲**
	男子100m自由形 高3の部	3位	松村 恵矢
	男子200m自由形 高3の部	**優勝**	**松村 恵矢**
	男子50m平泳ぎ 高3の部	**優勝**	**島内 嘉生**
	男子100m平泳ぎ 高3の部	3位	島内 嘉生
	男子50m背泳ぎ 高1の部	2位	森本 祭
	男子100m背泳ぎ 高1の部	2位	森本 祭
	男子100mバタフライ 高1の部	**優勝**	**森本 祭**
	男子100m平泳ぎ 高3の部	**優勝**	**安原 聖力**
	男子200m平泳ぎ 高3の部	**優勝**	**安原 聖力**
	男子100m自由形 高3の部	2位	山中 悠正
県体	50m自由形	3位	前田凜
	100mバタフライ	3位	藤本 保都希
	400m個人メドレー	**優勝**	**藤本 保都希**
県選手権大会	200mバタフライ	3位	藤本 保都希
県学年別大会	50m自由形 高2の部	2位	前田凜
	100m自由形 高2の部	3位	前田凜
	50m背泳ぎ 高2の部	2位	前田凜
	100mバタフライ 高1の部	**優勝**	**藤本 保都希**
	200mバタフライ 高1の部	**優勝**	**藤本 保都希**

陸上部

国体県予選	男子少年A800m	3位	安部 義亮
県体	女子ハンマー投・女子砲丸投	**優勝**	**西野 歩季**
	女子やり投	2位	
高吾地区	男子100m・走高跳	**優勝**	**小嶋 一獅**
選手権大会	男子200m・400m	**優勝**	**浜田 康平**
高知市選手権大会	女子やり投	3位	西野 歩季
高知市カーニバル大会	女子やり投	**優勝**	**西野 歩季**
	男子三段跳	3位	武岡 佑磨

arena


3
10
14

高知商学園
672

高知高校文化部の主な成績

全国高等学校総合文化祭（2020 こうち総文）

高知県代表 「なんじゃもんじゃ」	中田 佐紀 安藤 亜友香 前川 怜音 朝比奈 ゆら
「ヰsoda(ナチュラル ソーダ)」	森岡　太一 中田　佐紀 伊藤　陸人 朝比奈ゆら

高知県高等学校軽音楽演奏会「軽音祭」

「なんじゃもんじゃ」　2位

高知県高等学校軽音楽発表会（高文連県大会）

「レイメイ」　3位　前川 怜音
安藤 亜友香
西内 冬音

高知県高等学校写真展

高知県代表　優秀賞 坂本 凪

全国高等学校総合文化祭（わかやま総文）

高知県代表　優秀賞 坂本 凪

第58回 中学生作文コンクール

文部科学大臣賞（全国一位） 中学1年 **本田 哲平**